

核データ国際会議 ND2004 のあれこれ

Los Alamos National Laboratory

河野 俊彦

kawano@lanl.gov

1. Santa Fe でお待ちします

私の書く記事はしばしば「ふざけている」と言われますので、この章の表題を見られて「またか」と呆れ顔の方もいらっしゃるかと思います。核データニュースの編集の方から執筆依頼のメールが届き、文章を良く読みもせず2つ返事(メール2往復分)でOKしたのですが、さて、そろそろ切だと思って改めてメールを読み直してみると、表題(仮)が「Santa Fe でお待ちします」。編集の方でも駄文を期待しているようですが、さすがにこんな演歌のような表題をつける度胸は無かったので、章の方に格下げさせて頂きました。実際、学会当日は50km離れたLos Alamosから車で通勤するので、Santa Feで待っているわけではありませんし。

ND2001ではプログラム委員を仰せつかりましたが、今回は現地委員です。私がLANLの職員になったのは昨年4月のことですが、それより数ヵ月前からすでに「現地委員」となっていたようです。本稿では、ND2004の準備状況やSanta Feの見所などを、現地人の立場から紹介したいと思います。中にはインサイダー取引的な情報も混じるかもしれませんが、日本語なのでこっちの人は誰も気づかないでしょう。

2. アブストラクト受付状況

私が渡米時点でのND2004の準備は、まだ場所を確保している程度だったように憶えます。秋に現地委員の会合が開かれ、そこでの最大の議題は、招待講演を誰にお願いするか、どうやって会議参加者のアブストラクトを集めるか、ということでした。招待講演者はすでに候補者のリストがありましたので、それをさらに絞り込み、また現地委員の方でもアイデアを出して検討がすすめられました。

アブストラクトの受付では、たしかND2001ではNEAのサイトで受け付けていたので、それをもう一度使うというのも選択肢の一つでしたが、結局自分たちで専用のWeb Pageを作ろうということになりました。作ろうという話になったら、その鋒先は作ったこと

のある人間に向けられます。Abstract Submission System という、業者に委託するとかなりお金を取られそうなものを作るはめになりました。

システムというほどの大げさなものではありませんが、要するに Web のフォームを使ってユーザが名前や原稿をデータベースに書き込めるようにしたものです。Web のインターフェイスには PHP を使い、データベースには PostgreSQL を用いています。相棒は、MySQL の方が多く使われているようだから MySQL にしようと言い張っていましたが、私の「やだ」の一言で却下。

データベースに保存された情報は、やはり Web 上から操作することにより、内容の修正・変更、TeX ファイルの生成と PDF への変換が可能です。また現地委員のメンバーは作成された PDF を download したり、受け付けられた論文数等の集計を見ることができます。当初はアブストラクトの受付の為に設計されたシステムですが、その後、プログラム編集を容易にするために多くの機能が追加され、国際会議マネジメントシステムのようになっていました。

システムが完成し、テストを終え、10 月初旬にサイトが公開になりましたが、予想せぬ不具合が次々と見つかり、最初の 1,2 週間はその対応に追われていました。特に予想していなかったのは、多くの人が一旦ワープロで文章を作り、それをペーストするということでした。大概は何の問題もありませんが、特殊な文字が使われていると TeX が通りません。国固有のフォントが使われたりすると、「なんか文字があるみたいやけど、見えん」という状況になったりします。キリル文字で Γ みたいなのが使われていたときは、30 分ほど悩みました。

さて、サイト公開当初はさほどアクセスが無かったので、送られてきたアブストラクトの処理 (PDF を作って送信者に返信) は簡単でしたが、~~メ~~切の 12 月 15 日直前は大量のアブストラクトが押し寄せ (Fig.1)、処理する端から新しいのが送られて来るとい、まるでモグラ叩きをしている気分。もし逆の立場だったら、主催側の迷惑にならないように、~~メ~~切よりもずっと前に出すのに (嘘)。

~~メ~~切後もかなりの数の申込があり、最終的な数は 500 弱となりました。同じ物を 2,3 度送信した人もあったので、実際数は invited を含めて 470 ほど (4/28 現在) です。ND2001 のときよりも少ないのは、宣伝が足りなかったのか、アメリカ出張は面白くないと思っている人が多いのか、実はサンタフェの物価が高いということを知っているのか、核データ研究が下降しているだけなのか、あまり定かではありません。ポスターが少なかったのは本当のようです。某 O 研究所の某 N 女史から「ND2004 のポスター、見ないわよ」という指摘がありました。そのグループにはポスターが 1 枚だけ送られていましたが、実はポスターを受け取った同僚がそれを自分の部屋に貼っていたという話です。

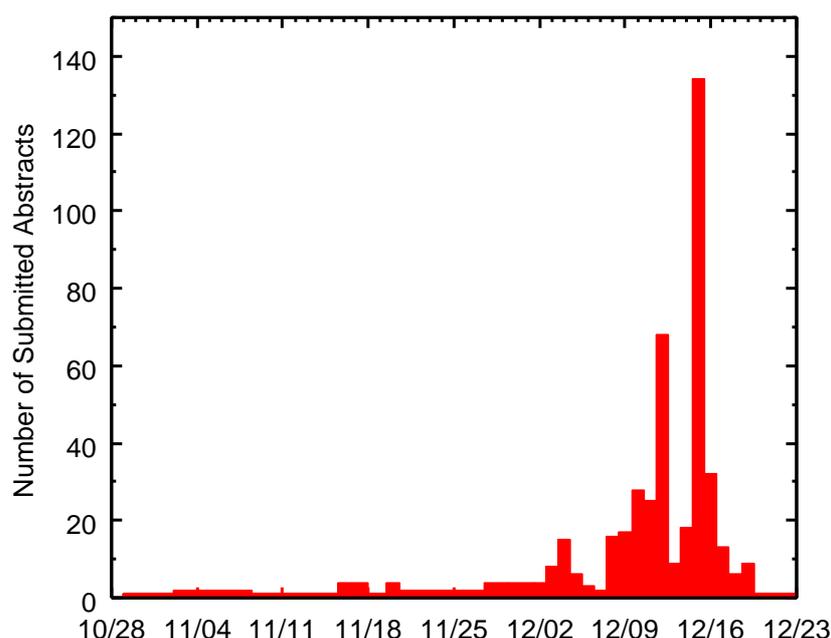


Fig. 1: Abstract 受付数の変化

3. 辛口 Santa Fe 観光ガイド

日本で売られている観光ガイド本で、Santa Fe が載っているものはほとんどありません。比較的ページが割かれているのは、「地球の歩き方」シリーズの一つ「アメリカの魅力的な町」という本です。レストランや御土産物など予習しておきたい方は、是非購入しておきましょう。詳細な地図も載っていますので、出発前に町中散策のイメージトレーニングをすることも可能です。Santa Fe を観光するのに車は不要です。町中のほとんどの所は歩いて行ける範囲にあります。ちなみに宮沢りえの写真集は観光ガイドにはならないので注意が必要です。

Santa Fe を極めるには、まず町の中心地 Plaza に向かいます。Eldorado ホテルに宿泊しているなら、すぐ横の San Francisco St. を西に 5 分ほど歩けば、小さな広場に出ます。ここが Santa Fe で最も美しいと言われる Plaza です。どこにでもあるような広場やんか、と言っている貴方、その印象は正しい。変わった建物に囲まれ、ネイティブアメリカンが道端でアクセサリを売っている他は、何の変哲もない小さな広場です。とにかくここが Santa Fe の中心ですので、覚えておいてください。ちなみに Santa Fe の建物は Adobe (高級ソフトで有名な会社と同じ名前) と呼ばれる日干し煉瓦で作られており、町並みにベージュの統一感が与えられています。実は日干し煉瓦というのは正確ではありません。試しに、そこいらの壁を叩いてみてください。大概がコンクリートにペンキを塗っているだけで、とてもキッチュ (kitsch) です。

もし本物の Adobe 建築を見てみたいなら、「アメリカ最古の家」に行ってみましょう。Plaza の角にある Santa Fe のもう一つの最高級ホテル La Fonda の裏に回ります。ここから

Santa Fe Old Trail という道に入り、De Vargas との交差点を左に曲がった所にあります。最古とは言っても日本の尺度からすれば大したことは無く、12世紀頃の建築です。アメリカ最古の家のすぐそばには、アメリカ最古の教会「San Miguel Mission」があります。1626年だそうですので、江戸時代の建築ですね。

再び Old Santa Fe Trail を戻ってくると、Loretto Chapel が右手にあります。入場料を払う時に国を聞かれますので、日本人と答えましょう。日本語の解説をくれます。日本語でなくて良いなら、中国語とかロシア語とか茨城弁とか、適当に答えてみてください。大概の言語は用意されているようです。この教会の売りは「奇跡の階段」です。木造の螺旋階段ですが、支柱が無く、鉄の釘も使われていないそうです。建築に疎い私には、何が凄いのかイマイチ良く分かりませんが、とにかく奇跡と言うのだから奇跡。

再び Plaza と La Fonda の角まで戻り、San Francisco St. に立って西を向きます。正面にあるのが、St. Francis Cathedral です。綺麗なロマネスク様式の教会ですが、内部は大したことはありません。入場無料。

St. Francis の正面には Santa Fe スタイルのインディアン・アート&カルチャー短期大学美術館があり、インディアンモダンアートを見ることができます。見る程のことはないので、そのまま北に進み Palace Av. に出ましょう。ここには、私が一番気に入っている家並があります。長屋のように軒先が続きますが、所どころ中に入っていける小さな廊下がついています。廊下の先は小さな中庭で、小さな店や花壇、ベンチ、木陰のレストラン。スパークリングワインでも注文し、ちょっと休憩。

4. 偏向 Santa Fe レストランガイド

おそらく皆さんは会議前日の夜から Santa Fe に滞在し、土曜日にここを発たれることと思います。会議主催のバンケットがありますので、5回分の夕食を考えておけば良いわけですね。アメリカに旨い物無しとの偏見をお持ちの方、そう、貴方は正しい。でもそれでは話が進まないで、Santa Fe には美味しいレストランがあることをお伝えしたいと思います。

New Mexico 料理と言えば、辛いものと相場が決まっています。料理には、グリーンチリを始め、ハラペーニョやハバネロなど、色形の異なる種々のチリペッパーを使います。メニューの中にハバネロと書かれていたら、辛いことを覚悟して注文してください。おすすめはグリーンチリを使った料理。チリとは言っても味が分る程度の辛さで癖になります。ここではハンバーガーにグリーンチリをトッピングしたりします。辛い料理が心配なら、注文する前に辛いかどうか聞きましょう。この場合、英語の「辛い」は“hot”ではなくて、“spicy”と言います。以前、とある店で料理を注文する際“Is it spicy?”と確認したことがあります。返って来た答えは、“Yeah, sometimes.”日によって味が違うのか？

豆にも多くの種類があり、しばしばサイドメニューとして煮た豆が付いてきます。と

ある日本人が、ビーフブリトーと、付け合わせに豆を注文したそうですが、ビーフと言ったのをビーンズと取られ(本人の名誉の為、発音が悪かったとは決して言いませんが)、豆ブリトーと煮豆が出てきたそうです。レストランでの注文では、はっきりと発音することを心がけましょう。

以下、私が入ったことのあるレストランから幾つか紹介します。店名の後の記号 R は、地図中の位置を表します。

- Coyote Cafe (R1)

Santa Fe でも最も有名なレストランの一つ。「コヨーテ」とそのまま読むと通じませんので注意。New Mexico 料理ですが、かなり洗練されています。ディナーを一通り注文しワインも取れば、5000 円以上は覚悟する必要があります。ビアガーデンのようなテラス (Rooftop Cantina) もあり、ここはそれほど高級ではありませんが、ND2004 の季節は開いてないかもしれません。

- Bluecone Cafe (R2)

ここも New Mexico 料理ですが、とてもカジュアルです。店の名前にもなっていますが、青いとうもろこしを使ったタコスがあります。また、自家製ビールが数種類ありますので、是非試してみてください。

<http://www.bluecorncafe.com/>

- La Casa Sena (R3)

上の方に書いた Palace Av.の中庭にあるレストラン。綺麗です。私は外のテーブルで食事をしましたが、建物の中にももちろんテーブルがあります。

- Il Piatto (R4)

Santa Fe の高級レストランの一つに Bistro 315 というところがありますが、ここは同じオーナーが経営するイタリアン。手頃な値段です。

- The French Pastry Shop (R5)

Hotel La Fonda の 1 階にあるカフェ。サンドイッチやクレープ、キッシュなどがありますが、お奨めはオニオンスープ。昼食にどうぞ。パンやケーキも売っています。

- Maria's (R6)

ここは町の中心からちょっと離れているので、ND2004 参加者には不便かもしれませんが、テキーラベースのカクテル「マルガリータ」で有名な店です。バーには種々のマルガリータがあり、選ぶのが大変なほど。料理はメキシコ料理。歩いて行けない距離ではありませんが、口当りの良いマルガリータを何杯もおかわりしていると、帰って来れなくなりますので注意。



Fig. 2: Santa Fe 簡単マップ

5. おみやげガイド

Santa Fe で一番良く目にするおみやげ物は、ネイティブアメリカンの作るアクセサリーで、町中いたるところにインディアン・ジュエリーの店があります。大概「全商品 40% off だ」とか言っていますので、off にした値段が定価なのでしょう。よく知りませんが。この手のアクセサリーは値段の見当が付かないんですが、概して思ったより高いです。高いと思います。良く知りませんが。手作りとはいえ、武骨なペンダントが\$100 近くします。もっとも、日本での相場を知らないのので何とも言えませんが。

インディアン・ジュエリーの場合、大抵作った部族が分りますので、実は Made in なんとかだった、というようなことはあまりありません。が、それ以外の民芸品には注意が必要です。インディアンっぽいものはたくさん売られていますが、多くは南米で作られています。もちろんインディオには変わりありませんが、Santa Fe とは関係無いですね。この手のお土産で有名なのは、Dream Catcher と呼ばれる、丸い輪に網が張られた飾りです。Roswell が近いからと言って、UFO Catcher とは間違っても言わないこと。悪い夢を捕獲し、良い夢だけを通してくれる、ありがたいお守りです。南米製を買いたくなければ、作った部族名を確認すること。

食べ物のおみやげは、何と言ってもチリです。乾燥した種々のチリやグリーンチリの缶詰など、日本では目にしないものがスーパーマーケットで売られています。問題は、チリなんてそのまま食べるもんじゃ無いんで、それを大量に買って帰ると女房から文句を言われる可能性もある、ということくらいかな（福岡方面で現実にあつたらしい）。チリ関連はあちこちに売っていますが、Water St.の Chile Shop (<http://www.thechileshop.com/>)には、食用のチリやサルサの他、チリをあしらったキッチン用品などがあり、見ていて飽きません。ウケを狙うならチリ入りチョコレートというのもあります。

お金持ちの方は、Canyon Road へ行ってみましょう。Santa Fe は芸術の町としても有名です。あの Georgia O'Keeffe は New Mexico の魅力に魅せられて、New York からこの地にやってきました。その伝統を面々と受け継ぐモダンアートのギャラリーが、この Canyon Road に並びます。まずは心引かれたギャラリーに入ってみましょう。値段を見ずに作品だけを見て、その値段を考えてください。次に、その値段を 10 倍します。最後に、作品の値段を確認して、その数値と比較してみましょう。その差は誤差±10%以内に入るはずですよ。

6. おわりに

Santa Fe の魅力を、かなりシニカルに紹介しましたが、如何でしたか？ 観光地であることには変わりありませんので、ND2004 のセッション以外にも、Santa Fe 滞在をきっとお楽しみ頂けることと思います。Santa Fe 以外にも、車でちょっと足をのばせば、New Mexico にはたくさん見所があります。会議を抜け出してとは言いませんが、時間があるなら、日本では見られないような西武劇の世界をお楽しみください。Los Alamos 近郊の紹介は、有名なサイト

<http://www.geocities.jp/aspnleafjp/>

で見ることができます。

「では、Santa Fe で.....お待ちしております」というオチを期待したでしょ？残念ですが、私は現地委員で当日も忙しいはずですので、皆さんを御接待している暇はありません。これだけ観光ガイドを書いたのですから、あとは御自分で何とかしてくださいね。